

7. 安全功労者消防庁長官表彰を受賞して（静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 鈴木政子）

静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 鈴木 政子

本年7月8日、長年の防火・防災活動への取り組みを評価いただき、安全功労者消防庁長官表彰を受賞しました。昭和55年9月、地域の女性を対象に（静岡県）浜松市浅間地区婦人防災クラブを結成して以来、今年で満25年。あっという間だったように思います。

昭和55年当時、静岡県ではすでに東海地震の発生が予告されていました。夫は消防団員でしたので、火災が発生すれば時間を問わず出動していきます。そうなれば、家に残った子供たちを守るのは私の役目ということになります。万一本当に地震が発生したら、私一人でどうしたらいいか、消火器は使えるか、怪我の手当てはできるのかと、とても不安になりました。

夫の消防団活動を通じ、災害発生時には消防職員がいかに過酷な現場で奮闘しているかという現状を知っていましたから、自分たち住民も消防や救急に助けを求めるばかりではなく、自分たちでできることは少しでも自分たちで、という思いもあり、仲間の女性たちと一緒に婦人防火クラブを立ち上げるきっかけになりました。

浅間地区で始めた運動が、市内の他の地区にも広がり、昭和58年3月には県の女性防火クラブ連絡協議会も結成されるなど、組織は大きくなりました。現在も私たちクラブは、地元密着を基本に防火パレードなどの催しに積極的に参加したり、防災講演会やバザー等の企画を試みるなど、積極的な啓発活動を行っています。

私自身は、平成元年4月から浜松地区婦人防災クラブ連合会の会長、平成14年4月からは県の連絡協議会の会長をつとめさせていただいていますが、家族の理解や会員の方々のご協力のおかげで、今日までやってこれることができたと思います。昨年の新潟県中越地震の折には、県女性防火クラブ連絡協議会の他のメンバーとともに被災地に入り、及ばずながらボランティア活動にも携わりました。改めて自然災害の恐ろしさと、それを乗り越えるためにも人と人とのつながりが大事だなあと実感したところです。

核家族化の進行など、女性防火クラブの活動を推進する上でも様々な課題を抱えていますが、引き続き、周囲への感謝の気持ちとともに、全力投球で頑張っていきたいと思います。このたびは本当にありがとうございました。



▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 首都直下地震対策大綱](#)
- [2. 平成17年度消防功労者総務大臣表彰](#)
- [3. 新潟県集中豪雨・中越地震その後 第1回（婦防リーダーマニュアル作成委員 全国地婦連 浅野幸子）](#)
- [4. 宮城県・福島県両連絡協議会会長所属婦人防火クラブ間での交流会について](#)
- [5. 平成17年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会（中国・四国ブロック）](#)
- [6. 平成17年度自主防災組織リーダー研修会（宮城県・北海道）](#)
7. 安全功労者消防庁長官表彰を受賞して（静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 鈴木政子）